

地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業 高知県の事例（2018年度～）

<取組の内容>

【実施体制の整備】

- 業務運営委員会（「学習相談・学習支援」検討会）の開催により、県教育委員会が事業実施を委託する若者サポートステーションと、ハローワーク及びその他支援団体等が連携する実施体制を整備。

【学習相談・学習支援の実施】

- サテライトを含む県内5箇所にある若者サポートステーションにて、利用者の希望や特性に応じた個別及び少人数での学習相談・学習支援を行い、高卒認定試験合格後においても継続的な支援を実施。
- 福祉部局等・教育委員会事務局関係課と情報連携を図る「学習相談・学習支援」検討会を開催。

【広報の取組】

- 「地区別連絡会・高等学校担当者会」の開催、市町村教育委員会への中学校卒業時進路未定者の進路・支援状況調査及び市町村役場・ハローワーク等での出張相談会の実施等により、若者サポートステーションへの誘導を実施。
- 「若者はばたけネット」により、中学卒業時及び高校中退時の進路未定者の情報を県教育委員会が学校より収集し、その情報提供を受けた若者サポートステーションより支援対象者にアプローチを行う。
- 在学生を対象とした高等学校での個別相談・出張セミナーにおいて若者サポートステーションの周知を行う。

<取組の成果>

- 実人数100名以上が事業を利用し、高等学校や高卒認定試験の受験や就職活動を実施した者のうち、約5割程度が合格、就職した。

<今後の取組>

- 地理的、経済的な理由で定期的な来所が困難な利用者のためのオンライン相談やアウトリーチ型支援等を行いながら、修学支援のより一層の実施を目指す。
- 高卒認定試験合格の有用性の周知、学習支援への参加頻度の向上を図ることで、高卒認定試験受験者数及び合格率の向上を目指す。